

第65回 石川県児童・生徒科学作品コンクール

優 秀 作 品 展

2021

石川県教員総合研修センター会場

令和3年10月30日(土) 12:00～15:30

金沢会場

[金沢市長土塀青少年交流センター]

令和3年11月6日(土)～14日(日)

9:30～16:30

※ただし、8日(月)は休館日のため除く

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
土日は要予約

小松会場

[小松市民ギャラリー「ルフレ」]

令和3年11月23日(火)～29日(月)

9:00～17:00

※ただし、29日(月)は15:00まで

河北会場

[津幡町文化会館「シグナス」]

令和3年12月4日(土) 10:00～16:00

12月5日(日) 10:00～15:00

能登会場

[能登町コンセールのと]

令和3年12月11日(土) 10:00～16:00

12月12日(日) 9:00～15:00

珠洲会場

[珠洲市飯田わくわく広場]

令和3年12月18日(土) 9:00～16:00

12月19日(日) 9:00～15:30

主 催 石川県科学教育振興委員会

共 催 石川県教育委員会 石川県科学教育振興会

後 援 石川県理科教育研究協議会 読売新聞北陸支社

入賞作品一覧表

◆ 石川県知事賞

小学校の部

- ◎ 地震の後に何かが起こる!! パート2
～液化化しても命を守るために家がたおれない対策を考える～
- | | | |
|------------|----|-------|
| 金沢市立杜の里小学校 | 6年 | 上田 遥夏 |
|------------|----|-------|

中学校の部

- ◎ 竹とんぼの揚力と空気抵抗
- | | | |
|---------------------------|----|-------|
| 金沢大学人間社会学域学校
教育学類附属中学校 | 1年 | 中浜 康希 |
|---------------------------|----|-------|

◆ 石川県議会議長賞

小学校の部

- ◎ スイカのふしぎな「ひげすじ」part 3
「ひげすじ」基準で糖の種類にもこだわってみませんか?
- | | | |
|------------|----|-------|
| 金沢市立伏見台小学校 | 5年 | 高山 穰佑 |
|------------|----|-------|

中学校の部

- ◎ 身の回りの素材を使ってオリジナルな紙を作ろう! パートII
～野菜・果実 編～
- | | | |
|-----------|----|-------|
| 金沢市立野田中学校 | 2年 | 大井山 聡 |
|-----------|----|-------|

◆ 石川県教育委員会賞

小学校の部

- ◎ ティオニ・サバイバル
～オオカマキリの卵しょうの研究～
- | | | |
|---------------------------|----|-------|
| 金沢大学人間社会学域学校
教育学類附属小学校 | 4年 | 小野 遥紀 |
|---------------------------|----|-------|

中学校の部

- ◎ アラレタマキビ ふしぎ発見!
- | | | |
|-----------|----|-------|
| 珠洲市立緑丘中学校 | 2年 | 東出 真穂 |
|-----------|----|-------|

◆ 石川県科学教育振興会長賞

小学校の部

- ◎ くずれない? 砂ぞうのひみつ
- | | | |
|---------------------------|----|------|
| 金沢大学人間社会学域学校
教育学類附属小学校 | 3年 | 木場 瑛 |
|---------------------------|----|------|

中学校の部

- 迷路で調べるハムスターの認知能力
- | | | |
|-----------|----|-------|
| 小松市立南部中学校 | 1年 | 右形 奏汰 |
|-----------|----|-------|

- ※ 小学校の部における◎印の作品は、県代表として第58回全国児童才能開発コンテスト 科学部門に出品する。
中学校・高等学校の部における◎印の作品は、日本学生科学賞石川県審査の最優秀作品であり、県代表として第65回日本学生科学賞中央審査に出品する。
中学校・高等学校の部における○印の作品は、日本学生科学賞石川県審査の優秀作品である。

◆ 優 秀 賞

小学校の部

ゴミぶくろでパラシュート大きくせん！	金沢市立田上小学校	1年	加藤 悠真
にじのけんきゅう	かほく市立宇ノ気小学校	1年	倉 ころろ
わたししか知らないアサガオのひみつ パート2 ～うえるじきと色のひみつ大はっ見！！～	金沢市立押野小学校	2年	田中 心陽
ぶどうジュースをさいごまでぜんぶきれいにのみきたい！！ パート2 「あわだちくん」をさがしてみると・・・	金沢市立伏見台小学校	2年	高山 詢平
とべ！！ほくのかみひこうき2	金沢市立杜の里小学校	2年	宮野 陽向
はしれ！ほくの地下てつ ～でん車をはやくはしらせよう～	羽咋市立瑞穂小学校	2年	村田 佳紀
テントウムシは黒色がにがてなのか？	金沢市立小立野小学校	3年	由水龍之介
2021 カマキリの研究 ～ふ化する気象条件～	内灘町立大根布小学校	3年	前田 依槻
竹とんぼ 羽根のひみつ発見！	加賀市立山代小学校	4年	宮下 颯太
ほくの洗たく計画 パート2 ～どろよごれをきれいに落とすには？～	金沢市立押野小学校	4年	田中 優和
アサガオの花 花の色を作り変えたい -5年目-	金沢市立夕日寺小学校	5年	寺山 貴大
さぐるぞ！メンコのひみつ (パート2)	金沢市立田上小学校	5年	西村 悠
「すごいぞ納豆パワー」パート2 ～納豆菌 VS カビ～	金沢市立小立野小学校	6年	岡田 実樹
目指せ！ふうせん名人 ～妹からの挑戦状～	金沢市立西小学校	6年	岩上 龍平
ほくは大きくなったら7階の家を建てる！！④	金沢市立杜の里小学校	6年	宮野 蒔大

中学校の部

○ 宝石のような結晶をつくる！ Part 2 - ミョウバン人工結晶 -	金沢市立大徳中学校	1年	坂田 佳優
○ よみがえれ！ホテルが棲める川 ～ホテルフィルターで水質は改善されるのか～	羽咋市立羽咋中学校	1年	村田 幸
○ ありがとう金魚 - わずか 0.1g の脳が持つ力とは -	小松市立丸内中学校	2年	中村 紗月
○ 色が変わるコマの実験 Part 3 ～ベンハムのコマを起点として～	金沢市立小将町中学校	3年	皆川 大和
○ 植物を利用したボウフラ発生の抑制の研究 水質改善研究 パート9	金沢市立兼六中学校	3年	浦崎 哲徳

高等学校の部

○ 窓・扉の開け方の違いによる効果的な換気方法を探る	金沢市立工業高等学校	3年	北川ひより
		3年	松村 優玖
		3年	田中 悠斗
		3年	寺田 海斗
		3年	松田 百花
		3年	常林坊 直
		2年	西山 優輝

◆ 優良賞

小学校の部

はなかつぱ おもいでのおさがおはほんとうにさくのか ～あさがおのいろをかえるちょうせん～	加賀市立動橋小学校	1年	町田 奨悟
ぼく、しゃぼんだまはかせになる！	小松市立芦城小学校	1年	越田 修矢
あさがおなのになぜゆうがたまでさいているのかな	金沢市立馬場小学校	1年	荒木 陽
おおきくてわれないしゃぼんだまをつくるけんきゅう	金沢市立長坂台小学校	1年	野村 暁史
ばななをそだててみた	珠洲市立直小学校	1年	松原 大樹
ダンゴムシのすきなこととは・・・？	小松市立第一小学校	2年	森 菜乃香
どのボールが一ばんはずむのかな？	野々市市立館野小学校	2年	河合 武義
たまねぎなんかこわくない ～オニオンサラダへの道～	金沢市立伏見台小学校	2年	桑原 拓也
きゅうしょくのスイカをもういちどたべたいな	津幡町立津幡小学校	2年	福田 紗千
きゅうりをたくさんつくるほうほう	羽咋市立西北台小学校	2年	塩谷 綾
花のつぼみはどうなるの？	七尾市立朝日小学校	2年	西田 航
アリの食べ物けんきゅう	能美市立浜小学校	3年	堀田真有里
水の入ったコップで音かいを作ろう♪	野々市市立富陽小学校	3年	小谷 拓未
よく回る手作りゴマは、どんなコマ？	金沢市立三和小学校	3年	元祐 澄果
安全なマスクを調査せよ！！	金沢大学人間社会学域学校 教育学類附属小学校	3年	池田 遥貴
海ホテル ～その生態と発光のなぞについて～	金沢大学人間社会学域学校 教育学類附属小学校	3年	濱野 悠生
はばたけ！！アサギマダラ	羽咋市立瑞穂小学校	3年	立中 暖乃
ペーパークロマトグラフィの実験	輪島市立河井小学校	3年	松本 竜真
ザリガニ博士になろう パート2	小松市立中海小学校	4年	面 雄二郎
紙の強さ	能美市立浜小学校	4年	荒木 心月
見つけたよ！あさがおのつるのふしぎ	金沢市立米丸小学校	4年	宮丸 結花
オジギソウのびっくり！大発見！ ～3年目の研究～	金沢市立三馬小学校	4年	中島 芽生
ミョウバンの結晶づくり ～私の宝石工場～	金沢市立森本小学校	4年	吉田理佐子
コマの研究 パート3 ～長く回るコマを追究した成果～	内灘町立大根布小学校	4年	植原 まは
SENZAKI OLYMPIC 2021 わが家のオリンピック ～イソジンのなぞから始まる研究～	羽咋市立栗ノ保小学校	4年	仙崎 煌大
水やりわすれも大丈夫 高分子ポリマー土！	穴水町立穴水小学校	4年	和田 泰輝
生き物なんでも図鑑 パート4	珠洲市立正院小学校	4年	西 琥太郎
わたしの自転車なぜサビた?? ～サビの研究～第2弾 くぎのサビと塩分のうどの関係	加賀市立片山津小学校	5年	桑山 千愛
墨汁のシミはどうしたらとれるのか？ －シミのとり方の研究第2弾－	小松市立矢田野小学校	5年	岩田 汐織
手取川の水質汚濁 ～なぜ川は汚いの？～	能美市立粟生小学校	5年	中川 そら
紙ふうせんのひみつ	白山市立千代野小学校	5年	中野 快里
しゃぼん玉のひみつ ～表面張力とは？～	金沢市立千坂小学校	5年	松本 聖翔
液体のしみる速度はどんなものが速いのか	金沢市立木曳野小学校	5年	清水 蒼真

めざせ!最強のろか装置! ~1番きれいになるのはどれ?~	金沢市立杜の里小学校	5年	小田 采香
届け!!ほくの声 -音の伝わり いろいろ実験-	津幡町立津幡小学校	5年	本間 叶大
ダンゴムシのひみつパート5とワラジムシのひみつパート3	七尾市立石崎小学校	5年	川田 望夢
干し柿の研究	能登町立小木小学校	5年	南山 倅輪
カワラバッタの研究 6	珠洲市立蛸島小学校	5年	寺田 昂太
あつまれ、ダンゴムシ その6 ~みんなで円周を歩く謎~	加賀市立動橋小学校	6年	井出 有咲
水リンピック どの水が植物を大きくするか	小松市立串小学校	6年	石原 穂尚
20日大根の観察 ~Part 6~	小松市立中海小学校	6年	面 佐津希
サビの観察	能美市立寺井小学校	6年	上田 伊織
能登風鈴の心地よさにせまる	金沢市立長坂台小学校	6年	大井山 惇
結晶を作ってみよう ~どうすれば結晶は大きくなるのか?~	石川県立ろう学校	6年	山本 海翔
小松菜にやってくる虫で環境は分かるのか? ~生物指標による環境調査より~	金沢大学人間社会学域学校 教育学類附属小学校	6年	深江 文
うさぎはどれくらい賢いの? ~小さな長ろうさぎの挑戦~	金沢大学人間社会学域学校 教育学類附属小学校	6年	増田 笑己
植物の成長と光の色の秘密	内灘町立白帆台小学校	6年	飯田 梨愛
コインの移動の不思議	羽咋市立邑知小学校	6年	石井 陽斗
野菜の育ち方調べ パート5 ~めざせ飢餓ゼロ!~ 野菜の成長に「水に溶けた二酸化炭素」は役立つか?	七尾市立朝日小学校	6年	北川 健成
生ごみからメタンガスを作る	七尾市立中島小学校	6年	宮田 健豊
においをけすものをさがせ	穴水町立穴水小学校	6年	和田 浩輝
私のツバメ観察記録 第3だん	珠洲市立上戸小学校	6年	谷内口心春

中学校の部

カラフル植物の製作法	小松市立松陽中学校	1年	茗荷谷隣太
草木染め ~花の色、そのままの色で染まるのか~	能美市立寺井中学校	1年	泉 夏日凜
カタツムリはグルメかな	金沢市立兼六中学校	1年	金森 陽大
二酸化炭素を排出しない発電について ~環境にやさしいスターリングエンジンの利用~	石川県立金沢錦丘中学校	1年	荒木矢恵乃
土が水を含んだら...	金沢大学人間社会学域学校 教育学類附属中学校	1年	秋吉 智尋
赤丸はつかの塩害実験	かほく市立高松中学校	1年	吉野 祥輔
食品のにおいでカビは防げるのか?	かほく市立宇ノ気中学校	1年	亀塚 柚月
アルミ箔でもっとおいしく ~アルミの特徴から アルミ箔の活用法を探る~	津幡町立津幡中学校	1年	垣内 毬乃
葉っぱが水をはじく力	津幡町立津幡南中学校	1年	掃部 夕莉
ダンゴムシの研究 ~生態をさぐる!~	津幡町立津幡南中学校	1年	是久 瑠香
ねこのフレーメン反応の研究	津幡町立津幡南中学校	1年	林 礼士
ヤブカラシ 植物の葉について	珠洲市立宝立小中学校	7年	大畠梨紗子
水中の微生物の移り変わり V	野々市市立布水中学校	2年	松原 悠暉
『入浴剤の発泡時間を長くするには?!』 ~シュワシュワお風呂で部活の汗と夏の疲れをとる!!~	金沢市立兼六中学校	2年	扇谷 桃果

カメの研究8年目 カメの起き上がりにおける甲羅形状の効果 Effect of carapace shape on rolling over for tortoise	金沢大学人間社会学域学校 教育学類附属中学校	2年	部家 司
大谷川の水質調査	七尾市立七尾東部中学校	2年	塩崎 隆登
アオサギの婚姻色の変化 ～錦城山のコロニー観察Ⅱ～	加賀市立錦城中学校	3年	松浦ほの花
誤嚥を防ぐ「とろみ」に関する研究 ～でんぷんの不思議 part 8～	野々市市立布水中学校	3年	間口万次郎
ナツメの葉に潜む可能性 ～甘味抑制作用減弱とその利用～	金沢市立紫錦台中学校	3年	檜井 杏夏
毛細管現象と発展途上国への可能性	金沢市立兼六中学校	3年	金子 翔祥
忍者アマガエル隠れ身の術 part IV	金沢市立兼六中学校	3年	宮野 晃輔
「振動下での植物の生長について」	金沢大学人間社会学域学校 教育学類附属中学校	3年	勝見 碧
【牛乳からプラスチックを作ろう】 (海洋プラスチックゴミ問題を考える)	金沢大学人間社会学域学校 教育学類附属中学校	3年	勇崎まあ子
生分解性プラスチックの分解に適した環境は何か 牛乳とゼラチンで比較	志賀町立志賀中学校	3年	笠間 政成
だんごむし・2	能登町立柳田中学校	3年	山本菜々美

高等学校の部

ミズクラゲ (<i>Aurelia aurita</i>) の刺激に対する反応について	石川県立七尾高等学校 岡本 真奈 島崎 聖大 福井 隆介 松本 紗綾	1年	出崎 翔大
生息環境の違う3種のカニ, イソガニ (<i>Hemigrapsus sanguineus</i>), イワガニ (<i>Pachygrapsus crassipes</i>), アカテガニ (<i>Chiromantes haematocheir</i>) の環境の変化に伴う活動量の変化について	石川県立七尾高等学校 竹森 朱理 金井 陽輝 濱田 幹太 向瀬 紗来	1年	長田 夕苺
黒板とチョークによる異音の解析及び発生防止方法の模索	石川県立金沢泉丘高等学校 山田 真優 権野 仁人 若林 亜美	3年	田加村一希
リモネンによるポリスチレン溶解の効率化	石川県立金沢泉丘高等学校 西尾 朋人 赤木 俊太 西川 剛 橋本 空	3年	上田 琉人
色素増感太陽電池の最適条件	石川県立金沢泉丘高等学校 北川修太郎 久保 恵耶 宮上 太一 吉村 直希	3年	廣田真成人
宇宙を想定した低圧条件下での植物の大量生産の研究	石川県立金沢泉丘高等学校 山崎 創 岩本 啓慎 西島 大翔 三浦 恭	3年	秋島 大成
シミュレーションを用いたコロナウイルス感染の分析	石川県立金沢泉丘高等学校 三谷 裕希 池田 純 中村 莉玖 山本 優耶	3年	岡部 祐奈
津波の性質を利用した津波被害軽減の方法の模索	石川県立金沢泉丘高等学校 日比野孝俊 井上 祥佑 萬上 雄太 吹上陽向大	3年	長村 侑紀

□ 入賞作品数

	小学校	中学校	高等学校	計
石川県知事賞	1	1		2
石川県議会議長賞	1	1		2
石川県教育委員会賞	1	1		2
石川県科学教育振興会長賞	1	1		2
優秀賞	15	5	1	21
優良賞	52	25	8	85
計	71	34	9	114

県審査の講評

1 小学校

低学年では、身近な生活経験や生活科の学習経験での気づきから見いだした疑問をもとに進めている研究が多く見られた。

1年生「ゴミぶくろでパラシュート大きくせん!」では、花火をした時のパラシュートが落ちる様子から、長く漂うパラシュートの条件に疑問を持ち、袋の大きさ、袋の素材、ひもの長さ、ひもの素材、おもりの重さという条件によって滞空時間がどのように変化するか、複数回記録をとって丁寧に調べることができている。

2年生「はしれ!ほくの地下でつ〜でん車をはやくはしらせよう〜」では、大好きな模型の電車を速く走らせたいという願いを実現するために、電車の動く仕組みを調べた上で、電車の形、電池の種類や数などの条件を変えて、実験を行っている。得られた結果について考察し、新たな課題へと結びつけ、さらに追究するなど、研究内容を深めている。

低学年の作品には、子どもらしい発想で、楽しみながら研究を進めたものも多く見られた。根気強く時間をかけて取り組んだものも多く、観察や実験の結果を写真や図、表などを用いてわかりやすく表現することで、見る人にもその成果と共に得られた発見の喜びや感動なども伝える研究になったと思われる。

中学年では、観察・実験の際にその方法の妥当性を吟味している作品が多く見られた。

3年生「くずれない?砂ぞうのひみつ」では、偶然見かけた砂像に着目し、どうすれば崩れない砂像を作ることができるかを追究している。崩れにくさと砂の特徴や水分量との関係性や模様の描きやすさ、崩れにくくするスプレー等について、実験装置を自作するなど工夫して実験している。得られた結果を考察する過

程で新たな疑問に気づき、検証し、実験から得られた知見を生かして思い描く砂像を制作している。

4年生「ティオニ・サバイバル〜オオカマキリの卵しょうの研究〜」では、オオカマキリの卵しょうには様々な危険から中の幼虫を守るためどんな構造と秘密があるのか探究している。卵しょうが寒さ、火、衝撃、水などに耐えられるかを確かめようと科学的に検証し、結果を考察する中で、新たな疑問に気付いたり実験方法の妥当性を吟味し追実験したりしている。さらに卵しょうの構造や特性を生かしたサバイバルグッズへの活用も検討している。

中学年の作品は、長期にわたる観察や継続テーマに取り組み、昨年の結果をもとに新たな視点や疑問点について更に追究しているものも多く見られた。実験の計画をしっかり立て、見通しを持って論理的に進める力が育ってきている。

高学年では、複数年の継続研究が多く、目的を持って取り組んでいる作品が多く見られた。

5年生「スイカのふしぎな『ひげすじ』part 3『ひげすじ』基準で糖の種類にもこだわってみませんか?」では、すいかを横方向に切ったときに見える3方向に分かれた模様を「ひげすじ」と名付け、「ひげすじ」の役割、味との関係の2つの疑問について、仮説を立て検証している。昨年度の実験を改良し新たに生み出した方法で実験し、結果はスイカの甘さマップで表現するなど疑問を追究するためのアイデアが満載で、探究心溢れる作品となっている。

6年生「地震の後に何かが起こる!!パート2〜液状化しても命を守るために家がたおれない対策を考える〜」では、昨年度の研究結果の矛盾を解決するところから研究を進めている。液状化対策として、「砂利を混ぜる」、「筒をさす」など11の予備実験をもとに、10の本実験を通して、効果の高い対策と低い対策それぞ

れの共通点をまとめることができている。

高学年の作品は、1つの研究成果から、新たな課題を見だし、次の探究活動につなげたり、実験方法の工夫・改良をしたりするなどして探究活動をレベルアップするような作品が多く見られた。

全体として、身の回りの現象や事物、日常生活から生まれる素朴な疑問に着目し、探究活動を進めているものが多く、題材に親しみやすさを感じた。条件制御やデータの扱い方などにも工夫が見られた。膨大な時間と労力を要する研究も多く、ねばり強さと探究心の高さを感じる。今後も家族や専門家の協力を研究の深まりに繋げると共に、子どもらしい自らの発想や考え方を大切に研究に取り組んでほしい。

2 中学校

物理分野では、5作品の審査を行った。今、世界が対応に苦慮している課題をテーマにした研究や、実験装置を工夫して実験を積み上げ、多くのデータを分析する研究等、オリジナリティと熱意を感じる研究が多く見られた。

「竹とんぼの揚力と空気抵抗」では、自作の実験装置を使い、繰り返し試行しながら、徹底的に疑問を解決しようとする粘り強さが見られた。特に、条件制御とそれを実現するための実験装置の工夫が素晴らしかった。

仮説を元に実験を行い多くのデータを記録することは大変重要である。一方で、データの意味を捉えきれないと研究としての深まりは不十分となる。例えば、データの記録は表などで行い、グラフ化するには焦点化したいデータに着目することで新たな気付きが生まれることもある。結果を列記するだけにならないように、自らの視点を大切にデータの分析や結果の考察に取り組んで欲しい。

化学分野では、6作品の審査を行った。学校の授業や日常の経験の疑問から出発した作品が見られた。時間をかけてたくさんの実験・観察を行うなど丁寧に研究を進めており、創意工夫のある作品が多かった。

「身の回りの素材を使ってオリジナルな紙を作ろう！パートⅡ～野菜・果実編～」は、昨年度からの継続研究であり、今年度は原料として野菜や果物を用いて紙を作製する研究を行い、その成果を一覧でまとめるとともに、考察も丁寧に進めていた。多くの実験を行う中で法則性を見だし、仮説を立てて実証しようとしており、科学の研究として重要な点を押さえていた。また、測定データを感覚的なもので終わらせるのではなく、できるだけ数値化しようとする視点も素晴らしかった。成果をわかりやすくまとめようとする過程で新たな気付きが生まれて、さらに研究が深まっていくことも多いため、今後も研究成果をわかりやすく伝えるという視点を大切にしていってほしい。

生物分野では、22作品の審査を行った。多くの実

験・観察を、時間をかけながら粘り強く取り組んだ作品が多く見られた。普段接している生き物のちょっとした不思議をしっかりととらえて研究に結び付けていた。

「アラレタマキビ ふしぎ発見！」は、実験結果をもとに仮説を立て、次の実験を行うなど、実験を論理的に進めているところが素晴らしい。研究が進むにつれて内容が深まっていく過程が分かりやすくまとめられている。「迷路で調べるハムスターの認知能力」は、ハムスターに挑戦させる迷路を自作する工夫が見られ、ゴールに至るまでの学習の仕方を追究した。ハムスターの行動結果をうまく示しており、とても分かりやすくなっていた。

事前調べが少なく、すでに分かっていることを確かめる段階に留まっている研究が多く見られた。まだ分かっていないことに目を向け、実験・観察の結果からの気付きや研究の目的に沿った部分がわかるように表現してほしい。科学作品としてまとめる場合には、論理立てて、何をどのように伝えるかという点も大切である。

地学分野では、1作品の審査を行った。「土が水を含んだら…」は、7月に熱海で発生した土砂災害に衝撃を受け、土砂災害がどのように発生するのかを土砂の保水性と関係づけて研究をしていた。身近なものを用いて実験装置を自作し、さまざまな土砂について条件を変えて実験を行っていた。さらに、実験結果をグラフ化して比較しやすくしたり、丁寧に考察したりするなど、より発展的な展開があると研究内容が向上すると思われる。

地学分野では、実験・観察が行いにくかったり、観察に時間がかかったりするなど難しい面があるためか、例年作品数が少ない傾向にある。身近な現象に目を向け、疑問に思った現象について、ぜひ研究に取り組んでほしい。

全体として、社会的関心の高いテーマから着想して研究した作品が多く見られた。どの作品も創意工夫があり、科学への興味・関心の高さが感じられた。実験や観察の中で生まれる自分なりの疑問、オリジナルの発想を大切にしながら、研究を深めていってほしい。

3 高等学校

今年度は9作品の審査を行った。それぞれのテーマは大変興味深く、先行研究や専門家の意見を取り入れながら深く研究を進めていた。考察で用いられているグラフや表は見やすく、さすが高校生と感じられるところがあった。一方で、簡潔にまとめられすぎていてどんな研究を行ったのかわかりにくいものもあった。実験で得られたデータを見せながらまとめていく等、初めて見る人にも研究の過程をわかりやすく伝える工夫が必要である。